

4 地域リハビリテーション支援センター事業

地域リハビリテーション支援センターは、地域における障害者・高齢者等へ適切なリハビリテーションサービスを円滑に提供するための業務を全県的な立場で行っている。地域支援室では、リハビリテーション専門研修、地域リハビリテーション支援に関連する活動、県委託事業である神奈川県リハビリテーション支援センター事業を行っている。県委託事業に関してはリハビリテーション情報の提供、人材育成、関係機関の連携を推進する業務を行っている。高次脳機能障害支援室では「高次脳機能障害支援普及事業(国事業)」の支援拠点機関として支援コーディネーターと心理判定員が配置されており、高次脳機能障害者への相談支援、普及啓発活動、研修事業等を行っている。

(1) リハビリテーション専門研修

医療・保健・福祉・介護専門職を対象とした研修で、二つの県委託事業を含め平成 28 年度は 28 コースを実施し、受講者の総数は延べ 1578 名であった。今年度は新たに「脊髄損傷のリハビリテーション・ロボット編」、「視覚障害のある方への支援」を開催した。今回から研修アンケートは4段階評価を実施し、21 コースの平均は 3.8 点であった。下記の表は、県からの委託事業を除いた研修である。

| NO. | 区分 | 開催日 | 定員 | 受講者数 | 延数 | 評価/4点 | 内部参加者 |
|-----|--------------------------|---------------------|-----|------|-----|-------|-------|
| 1 | PTハンドリング入門 | 5/21 | 40 | 35 | 35 | 3.5 | 5 |
| 2 | 脳血管障害の作業療法 | 6/2 | 16 | 15 | 15 | 3.8 | 0 |
| 3 | 脳血管障害の理学療法 | 6/11 | 30 | 31 | 31 | 3.63 | 5 |
| 4 | 摂食・嚥下障害のリハビリテーション | 6/17 | 30 | 45 | 45 | 3.62 | 4 |
| 5 | 股関節症のリハビリテーション | 6/18 | 24 | 29 | 29 | 3.98 | 8 |
| 6 | 脊髄損傷のリハビリテーション(理解編) | 6/30 | 30 | 37 | 37 | 3.71 | 13 |
| 7 | (新)脊髄損傷のリハビリテーション(ロボット編) | 6/30 | 30 | 18 | 18 | 3.88 | 16 |
| 8 | OTハンドリング入門 | 7/2 | 40 | 55 | 55 | 3.71 | 2 |
| 9 | 機能訓練指導員研修 | 7/6、7/7 | 40 | 42 | 83 | 3.81 | 0 |
| 10 | 補装具専門研修 | 7/27 | 20 | 10 | 10 | 3.81 | 0 |
| 11 | (新)視覚障害のある方への支援 | 9/13 | 20 | 24 | 24 | 3.93 | 2 |
| 12 | 車椅子シーティングの理論と実際 | 9/22 | 30 | 45 | 45 | 3.93 | 8 |
| 13 | 身体機能障害の理解 | 10/4、10/11 | 20 | 32 | 62 | 3.83 | 0 |
| 14 | PT・OTのための土曜教室 | 10月～2月の土曜日 月1回開催 | 24 | 32 | 160 | 3.91 | 0 |
| 15 | 住宅改造・改修セミナー | 10/15 | 30 | 31 | 31 | 3.74 | 1 |
| 16 | 褥瘡予防セミナー | 10/18 | 50 | 53 | 53 | 3.77 | 1 |
| 17 | 脳血管障害のリハビリテーション(復職支援編) | 10/22 | 30 | 28 | 28 | 3.84 | 2 |
| 18 | 脊髄損傷のリハビリテーション(実務編) | 11/26 | 30 | 29 | 29 | 3.88 | 2 |
| 19 | 排泄ケアの知識と実践 | 11/30 | 50 | 64 | 64 | 3.87 | 0 |
| 20 | 知的障害の方の身体機能低下への対応 | 12/6、12/13 | 40 | 47 | 92 | 3.77 | 0 |
| 21 | 義肢装具セミナー | 2/18 | 20 | 9 | 9 | 3.91 | |
| 合計 | | | 644 | 711 | 955 | 3.80 | 69 |

(2) 地域リハビリテーション支援関連活動

ア 「かながわ地域リハビリテーション支援連絡会」政令市のリハセンターとの連絡会

平成 24 年度より横浜市総合リハビリテーションセンター、川崎市北部リハビリテーションセンター、れいんぼう川崎、平成 25 年度からは相模原市更生相談所と共同で開催している。また、今年度からは川崎市中部リハビリテーションセンターが加わった。今年度は 3 回開催し、開催日とテーマは以下の通りであった。

| 日時 | 開催場所 | テーマ |
|-------------|---------------------|---|
| 平成28年6月22日 | 横浜市総合リハビリテーションセンター | 「地域リハ推進に向けて、共通の課題や目標をもって解決を目指す」 ～地域包括ケアの中で「リハセンターはどんな役割をもつか?」～ |
| 平成28年11月16日 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター | 「働きざかりの脳血管障害者の復職に向けた支援」 |
| 平成29年3月14日 | 川崎市中部リハビリテーションセンター | 「障害者の華麗に伴う機能低下への対応」 |

イ 地域医療介護連携会議等への参加

1) 「厚愛地区医療介護連携会議」への出席 (7回出席)

厚愛地区医療介護連携会議は厚木市保健福祉事務所が主催する地域包括ケア・在宅医療推進会議の分科会である。医療・介護・福祉に関わる職種及び行政機関が構成メンバーである。今年度は会議に出席して多職種連携研修や住民向け講演会、情報提供などの取り組みに協力した。

2) 「神奈川県小児等在宅医療推進会議」、「厚木地区および小田原地区小児等在宅医療連絡会議」

在宅療養を行う医療依存度の高い小児に対して医療福祉教育等の関係機関が連携し小児の在宅医療を支える体制を図ることを目的とした推進会議、および厚木、小田原保健福祉事務所の所管区域をモデル地域とした実務担当者会議に出席した。県小児等在宅医療推進会議は神奈川リハセンターより小児科医、支援センター所長(3/30)、厚木地区(6/17、12/19)、および小田原区(8/3、1/30)の小児等在宅医療連絡会議には支援センターSWが出席した。

3) 「自立支援協議会(県、保健福祉圏域、市町村)」

- ・神奈川県障害者自立支援協議会 1回 (9/1)
- ・県央障害保健福祉圏域自立支援協議会出席 2回 (7/14、1/31)
- ・湘南西部障害保健福祉圏域自立支援協議会 1回 (7/21)
- ・清川村障がい者協議会 1回 (3/24)

ウ リハ専門関連団体との連携

地域包括ケアを進めるにあたり、リハビリテーション専門職の役割が重要視されている。リハビリテーション専門職の職能団体や神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会、地域のリハビリテーション連絡会と情報交換し、各地域での連携の進捗状況を知るとともに、連携を促すための取り組みを行った。特に今年度は湘南地域リハビリテーション連絡会、伊勢原市リハビリテーション地域医療介護連携会と協働で研修会を開催した。

エ 障害者更生相談所等 補装具支給についての神奈川県からの評価・判定協力委託業務

神奈川県障害者更生相談所、相模原市更生相談所がそれぞれ主管する補装具支給に関する業務のうち、電動車椅子と重度障害者意思伝達装置の評価・要否判定について、専門的技術と知識を有する当センターの評価スタッフチームが更生相談所業務の協力を行った。今年度は県から5件の協力依頼があった。

オ 保健福祉事務所への難病患者支援研修等の協力

| 依頼元 | 内容 | 協力日時 |
|-----------------------|----------------------|------------|
| 神奈川県平塚市保健福祉事務所 | 平成28年度難病患者在宅ケア従事者研修会 | 8/31 |
| 神奈川県平塚市保健福祉事務所秦野センター | 平成28年度難病リハビリ教室 | 11/24・1/12 |
| 神奈川県厚木市保健福祉事務所 | 平成28年度在宅難病患者従事者研修会 | 12/9 |
| 神奈川県厚木市保健福祉事務所 | 平成28年度難病講演会 | 10/12 |
| 神奈川県厚木市保健福祉事務所大和センター | 平成28年度難病リハビリ相談 | 9/26・3/3 |
| 神奈川県小田原保健福祉事務所足柄上センター | 平成28年度難病患者保健福祉従事者研修会 | 2/21 |
| 藤沢市保健所 | 在宅難病患者保健福祉従事者研修会 | 3/15 |

カ その他の行政機関主催の研修や委員会等への職員派遣

伊勢原市、横須賀市、茅ヶ崎市、海老名市、山北町、松田町おける研修にリハビリテーション専門職を講師、また、秦野市の地域ケア会議、秦野市高齢者保健福祉委員会に職員を派遣した。

(3) 神奈川県リハビリテーション支援センター事業(県委託事業)

ア リハビリテーションの相談対応・情報提供

1) リハビリテーション専門相談

リハビリテーション専門相談は、リハビリテーションを必要とする高齢者・障害者が住みなれた地域で自立した生活が送れるよう、当支援センターの専門スタッフが市町村及び地域のリハ関係機関と協働して総合相談・情報提供・技術支援などの支援活動を実施するものである。目的は課題の解決のみならず、相談事例を通して医療・介護・福祉の連携を図ることで、地域の状況に応じたリハシステムの構築を目指す。地域の支援者との協働は地域におけるリハに関する相談や調整を行うリハコーディネーターの人材育成にも関与するものである。相談支援の活動では制度間の枠を超えた多職種・多機関による包括的アプローチを行うことで、地域にあるリハ資源を積極的に活用し、自立支援の観点を基本にしたケアプランや個別支援計画の作成などに寄与する。

平成28年度の相談件数は七沢病院脳卒中総合相談を合わせて451件で、新規相談件数は168件であった。内容は次のとおりである。

| リハ専門相談対応件数 | 件数 |
|-------------|-----|
| 電話 | 195 |
| 訪問 | 63 |
| 来所 面接 | 46 |
| メール・その他 | 22 |
| 合計 | 326 |
| 七沢病院脳卒中総合相談 | 125 |
| 合計 | 451 |

| 障害別相談件数 | 件数 | 構成比 |
|---------------|-----|--------|
| 脳性麻痺 | 46 | 27.4% |
| 神経・筋疾患 | 29 | 17.3% |
| 脳血管障害 | 25 | 14.9% |
| 脊髄疾患 | 18 | 10.7% |
| 脊髄損傷 | 13 | 7.7% |
| 骨関節疾患 | 11 | 6.5% |
| 後天性脳損傷(CVA以外) | 8 | 4.8% |
| 不特定 | 0 | 0.0% |
| 不明 | 0 | 0.0% |
| その他(内部疾患・切断) | 18 | 10.7% |
| 合計 | 168 | 100.0% |

| 保健福祉圏域別相談件数 | 件数 | 構成比 |
|-------------|-----|--------|
| 横須賀・三浦 | 5 | 3.0% |
| 県央 | 69 | 41.1% |
| 湘南東部 | 8 | 4.8% |
| 湘南西部 | 41 | 24.4% |
| 県西 | 26 | 15.5% |
| 横浜 | 7 | 4.2% |
| 川崎 | 0 | 0.0% |
| 相模原 | 3 | 1.8% |
| 県外 | 6 | 3.6% |
| 不明 | 3 | 1.8% |
| 合計 | 168 | 100.0% |

| 相談依頼元 | 相談件数 | 件数 | 構成比 |
|------------|------|--------|-----|
| 障害者相談支援事業所 | 39 | 23.2% | |
| 本人家族 | 32 | 19.0% | |
| 障害者施設 | 16 | 9.5% | |
| 市町村 | 14 | 8.3% | |
| 居宅介護支援事業所 | 13 | 7.7% | |
| 病院 | 13 | 7.7% | |
| 訪問看護事業所 | 13 | 7.7% | |
| 教育 | 10 | 6.0% | |
| 地域包括支援センター | 8 | 4.8% | |
| 障害者更生相談所 | 6 | 3.6% | |
| 保健福祉事務所 | 1 | 0.6% | |
| 高齢者施設 | 1 | 0.6% | |
| 訪問介護事業所 | 1 | 0.6% | |
| 業者 | 1 | 0.6% | |
| 合計 | 168 | 100.0% | |

2) 情報提供

ホームページ上で県内のリハビリテーション関係機関情報、リハビリテーション専門研修の開催案内及び募集や、当支援センターで行っている事業の情報発信を目的に広報誌「地域リハビリテーション支援センターだより」を掲載し、広く情報の提供に努めている。今年度「地域リハビリテーション支援センターだより」については紙面をA3版両面に統一し、専門相談の事例紹介を掲載した。ホームページへのアクセス数は、平成28年年度のアクセス総数は39,532件であった。また、フェイスブックによる情報提供によるアクセス総数は55,786件であった。

3) かながわりハビリテーション・ケアフォーラム

今年度は平成29年2月25日(土)に横浜情報文化ホールにて開催した。今回は「脳血管障がいがある方の活動と参加 - 働く世代の地域・社会生活を学ぶ - 」と題してフォーラムを開催した。

脳血管障がいの方の支援には、ソーシャルワーカー、リハ専門職などの医療職、ケアマネージャ、障害者相談支援専門員、介護職の方々など、医療、介護、福祉、行政関係など各分野の連携は欠かせない。特別講演では地域で脳血管障害の支援を行っている三軒茶屋クリニック院長の長谷川幹氏から「脳血管障がいのある方の活動と参加」と題して、医学的視点、心理的視点、そしてリハビリテーションなど

について講演していただいた。シンポジウムでは地域で支援を進めている3名と当事者へのインタビュー動画を放映し、各職種の役割や課題等について議論した。参加者は92名であった。

イ リハビリテーション従事者、利用者やその家族を対象とした研修

今年度は地域包括ケアでのリハビリテーション専門職や他の専門職との連携を深めること、また、教育分野での情報提供などを実施した。

1) リハビリテーション従事者等向け研修(2回)

湘南地域リハビリテーション連絡会と協同開催研修会

・「いっしょに考えよう！ 地域リハビリテーション」(於 湘南藤沢徳洲会病院) 50名参加
開催の背景

平成26年に湘南地域において有志により湘南地域リハビリテーション連絡会が立ち上がり、同年11月に第1回を開催して以降、3カ月に1度の勉強会を開催し情報交換の場としている。一方で平成27年度より、神奈川県理学療法士会では県内を12ブロックにわけ、この地域は湘南東部ブロックとして地域の要望に応える体制づくりを進めているが、とりわけ藤沢市内での顔の見える関係づくりに苦慮していることが伺われた。

開催目的

連絡会の活動に合わせて、本研修を開催することでリハ専門職同士の顔の見える関係作りの一助となるよう企画した。この研修では、地域リハビリテーションについて県リハ支援センター事業での取り組みや、退院時住宅改修における問題提起と、その問題に対してグループでの話し合いを通じて、湘南東部ブロックに所属しているリハ専門職の顔の見える関係作りを目指した。

伊勢原市リハビリ地域医療介護連携会との協同開催研修会

・「いっしょにつくろう！ 自立支援～回復期・訪問リハビリの取組み」(於 伊勢原協同病院) 43名参加
開催の背景

伊勢原市では平成28年度より新しい介護予防・地域支援事業を実施している。また、市内のリハ専門職の連絡会「伊勢原市リハビリ地域医療連携室」が平成28年2月に発足しており、2月に1回連絡会を開催し、顔の見える関係を目指している。会の中で行政や地域包括支援センターを招き連携作りにも積極的に取り組んでいるが、発足して間もないこともあり十分な連携が図れているとは言えない状況であるように思われた。

開催目的

一般にリハ専門職の役割は病院や通所施設、訪問看護などで実施されている機能訓練のみと捉えられがちであるが、自立支援に向けたケースマネジメントや環境調整についても専門性を発揮することは知られていない。この研修では、高齢者、障害者の生活支援に関わるケアマネジャー等を対象に「自立支援」をキーワードに、互いの職種の理解を深め顔の見える関係を作ることを目指して開催する。

2) 障害児者教育関係者向け研修(2回)

教育関係者向け研修会は体験形式で行われ、PT・OT・リハビリ工学のエンジニア・ソーシャルワーカーなどが関わりながら一緒にバスチェアやバスキャリー、リフトなどの入浴用具、食事や排泄関連用品などの生活用具、タブレット端末のアプリやコミュニケーション機器などの展示や、実演を交えた体験を実際に見て、触れて、体感できるような内容を実施してきた。

小田原養護学校教員、生徒、保護者を対象とした福祉機器用具展示体験会

会場：小田原養護学校 41名程度参加(内、教職員14名)

座間養護学校教員、生徒、保護者を対象とした福祉機器用具展示体験会

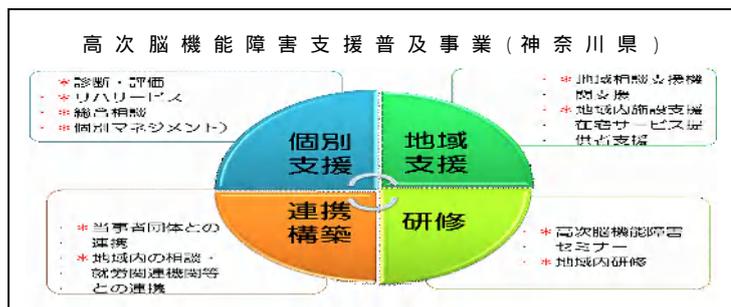
会場：座間養護学校 65名程度参加(内、教職員40名))

(4) 高次脳機能障害支援普及事業

障害者自立支援法に基づく高次脳機能障害者の支援拠点機関として高次脳機能障害支援普及事業を行っている。

拠点機関の支援内容の概要

地域支援センターでは、高次脳機能障害相談支援コーディネーターを3名配置し、個別支援、地域支援、研修、地域連携を柱とした事業を実施している。



ア 相談支援

1) 個別支援の状況

相談依頼元の相談件数（重複）

| 区分 | 件数 | 構成比 |
|-----------|-----|--------|
| 本人・家族 | 78 | 34.4% |
| 医療機関（外来含） | 89 | 39.2% |
| 地域相談窓口 | 37 | 16.3% |
| 市町村 | 5 | 2.2% |
| 障害者施設 | 0 | 0.0% |
| 介護保険関係機関 | 8 | 3.5% |
| 家族会 | 2 | 0.9% |
| その他 | 8 | 3.5% |
| 合計 | 227 | 100.0% |

相談内容別の相談件数（重複）

| 区分 | 件数 | 構成比 |
|-------------|------|--------|
| 就労・教育等 | 1246 | 15.0% |
| 経済・制度利用 | 1869 | 22.4% |
| 福祉サービス・社会資源 | 1023 | 12.3% |
| 家族支援 | 1069 | 12.8% |
| リハ訓練（通プロ含） | 1034 | 12.4% |
| 医療 | 503 | 6.0% |
| 補装具 | 20 | 0.2% |
| 福祉機器・用具 | 3 | 0.0% |
| 看護・介護方法 | 6 | 0.1% |
| 生活課題への対応 | 1540 | 18.5% |
| 住宅改修 | 1 | 0.0% |
| 医療機関紹介 | 14 | 0.2% |
| その他 | 0 | 0.0% |
| 合計 | 8328 | 100.0% |

障害別の相談件数

| 区分 | 件数 | 構成比 |
|-------------|-----|--------|
| 成人外傷性脳損傷 | 83 | 36.6% |
| 脳卒中 | 82 | 36.1% |
| 神経難病 | 0 | 0.0% |
| 小児脳損傷 | 17 | 7.5% |
| 脊損・頸損 | 0 | 0.0% |
| 骨・関節疾患 | 0 | 0.0% |
| 不明 | 3 | 1.3% |
| その他（低酸素脳症等） | 42 | 18.5% |
| 合計 | 227 | 100.0% |

相談に対する保健福祉圏域別の件数

| 区分 | 件数 | 構成比 |
|-----|-----|-------|
| 横浜 | 77 | 13.2% |
| 川崎 | 31 | 5.3% |
| 相模原 | 65 | 11.1% |
| 県央 | 101 | 17.3% |
| 横三 | 46 | 7.9% |
| 湘南東 | 64 | 11.0% |
| 県西 | 47 | 8.1% |
| 湘南西 | 85 | 14.6% |
| 県外 | 65 | 11.1% |
| 不明 | 2 | 0.3% |
| 合計 | 583 | 100% |

2) 巡回相談事業

- 相模原（プラスかわせみ）：第1土曜日 10時から 12時
 チャレンジ：第1水 14時から 16時 当事者会・第3水曜日 13時から 15時 家族会
 小田原（おだわら障がい者総合相談センター）：第1金曜日 14時から 16時
 大和（大和市障害者自立支援センター）：第3水曜日 14時から 16時
 相模原家族会（くもりのち晴れ）：第3日曜日 14時から 16時
 伊勢原市（ふくじゅ）：第3月曜日 13時から 15時
 ナナの会 就労を考える会（神奈川県民サポートセンター）：年3回土曜日開催
 福祉コミュニティカフェ亀吉（藤沢）：毎月第4月曜日開催
 失語症会話カフェ（藤沢）：毎月第3金曜日開催

イ 普及・啓発

1) 研修会の開催

| 研修名 | 対象者 | 開催日 | 開催場所 |
|------------------|------|----------|---------|
| 高次脳機能障害セミナー（理解編） | 限定無し | 8月27日（土） | 県総合医療会館 |

2) 神奈川県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会

高次脳機能障害者に関する地域支援ネットワークの充実を図るため、神奈川県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会を開催した。

・日時：平成29年2月21日（火） 15:00～17:00 場所：神奈川近代文学館

（委員会の構成員）

| 区分 | 所属 |
|-----------|---|
| 学識経験者 | 神奈川県保健福祉大学 保健福祉学部社会福祉学科 |
| 県の機関 | 保健福祉局保健医療部県立病院課、保健福祉局福祉部障害福祉課、精神保健福祉センター、総合療育相談センター |
| 国の機関 | 障害者職業センター |
| 横浜市 | 横浜市総合リハビリテーションセンター |
| 川崎市 | 川崎市北部リハビリテーションセンター |
| 相模原市 | 障害福祉課 |
| 当事者団体 | NPO 法人脳外傷友の会ナナ |
| 職能団体 | 医療社会事業協会、かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク |
| サービス提供事業所 | 愛名やまゆり園 |
| リハセンター | 地域リハビリテーション支援センター所長ほか4名 |
| 計 | 17名 |

ウ 研修関係事業

1) 研修会の開催

| 研修名 | 対象者 | 開催日 | 開催場所 |
|---------------------|-------------------------------|-----------|----------|
| 高次脳機能障害セミナー（小児編） | 医療・福祉・職業・行政等の分野で障害福祉にかかわっている者 | 7月9日（土） | おださがプラザ |
| 高次脳機能障害セミナー（実務編・一般） | 医療・福祉・職業・行政等の分野で障害福祉にかかわっている者 | 12月10日（土） | 厚木子ども科学館 |
| 高次脳機能障害セミナー（就労支援編） | MSW, PSW, 相談支援従事者、ハローワーク等の職員 | 1月28日（土） | フォーラム246 |

2) 県内研修会への講師派遣

- a . H28/5/18 相模原 MSW 研修会
- b . H28/5/19 平成 28 年度身体障害者・知的障害者担当新任職員研修
- c . H28/9/11 リハビリテーション講習会 in 寒川
- d . H28/10/15 みどり野リハビリテーション病院研修会
- e . H28/12/4 藤沢市こころのバリアフリー講座
- f . H29/2/15 厚木南地域包括支援センター研修会
- g . H29/2/18 相模原市高次脳機能障害研修会

3) 事例検討会

- a . 9/5 楽庵：参加者 9 名（施設職員 8 名 相談員 1 名）
- b . 9/9 ぷらすかわせみ：参加者 12 名（MSW2 名、介護保険事業所 5 名、障害者通所施設 3 名、相談支援専門員 2 名）
- c . 9/2 1 チャレンジ：参加者 14 名（相談支援 8 名、介護保険施設 3 名、医療機関 1 名、障害者施設 1 名、PT1 名）
- d . 11/25 みどり野リハビリテーション病院：参加者 14 名（MSW7 名、相談支援専門員 3 名、医療機関 3 名、障害者施設 1 名）
- e . 12/5 楽庵：参加者 9 名（チャレンジ 相談支援 2 名、支援員 7 名）
- f . 2/7 ゆんるり：参加者 7 名（相談員 2 名、支援員 5 名）

4) ネットワーク育成事業：高次脳機能障害支援機関ネットワーク連絡会

2016 年度 第 1 回 高次脳機能障害支援機関ネットワーク連絡会

日時 平成 28 年 7 月 19 日（火）15 時から 17 時半

場所 都筑区社会福祉協議会 2 階団体交流室 - AB

2016 年度 第 2 回 高次脳機能障害支援機関ネットワーク連絡会

日時：平成 29 年 1 月 13 日（金）15 時から 17 時

場所：大和市障がい者自立支援センター

エ 国との連携：全国高次脳機能障害相談支援コーディネーター会議

平成 28 年 6 月 22 日：国立障害者リハビリテーションセンター学院

平成 29 年 2 月 17 日：大手町サンケイプラザ

オ その他の関連事業

1) 連携構築

政令指定都市との連携

政令指定都市在住者への支援が多いことなど政令指定都市内の中心的機関との連携支援の必要性が高い状況にある。そのため、横浜市総合リハビリテーションセンター、川崎市北部リハビリテーションセンター、れいんぼう川崎及び相模原市障害福祉課と定期的な情報交換会を実施した。

| 開催日 | 開催場所 | 参加機関 |
|----------|----------------|--|
| 5 月 20 日 | 相模原市南区保健福祉センター | ・横浜市総合リハセンター（コーディネーター） ・川崎市北部リハセンター（SW、保健師） |

| | | |
|-------|----------------|--|
| 12月9日 | 相模原市南区保健福祉センター | <ul style="list-style-type: none"> ・川崎市中部リハセンター ・れいんぼう川崎（SW） ・高次脳機能障害地域活動支援センター（高津区） ・相模原市障害政策課 ・神奈川県総合リハセンター（コーディネーター） ・神奈川県障害福祉課 |
|-------|----------------|--|

自立支援協議会との連携

高次脳機能障害者支援の広域的・専門的相談支援機関として圏域事業調整会議および保健福祉圏域自立支援協議会へ参加している。

障害保健福祉圏域事業調整会議

障害保健福祉圏域・市町村自立支援協議会

平成 28 年度 障害保健福祉圏域事業調整会議

| 日時 | 場所 | 内容 |
|-------------------|---------|---|
| 平成 28 年 5 月 16 日 | アミューあつぎ | <i>各圏域ナビの実践状況</i> <i>県障害福祉課より情報提供</i> <i>研修会 等</i> 2/17 は全国コーディネーター会議のため欠席 |
| 平成 28 年 7 月 1 日 | アミューあつぎ | |
| 平成 28 年 8 月 24 日 | アミューあつぎ | |
| 平成 28 年 10 月 14 日 | アミューあつぎ | |
| 平成 28 年 12 月 7 日 | アミューあつぎ | |
| 平成 29 年 2 月 17 日 | アミューあつぎ | |

平成 28 年度 県・障害福祉圏域・地域自立支援協議会

| 日時 | 場所 | 内容 |
|-------------------|-------------|--|
| 平成 28 年 5 月 26 日 | 小田原合同庁舎 | <i>圏域ネットワーク形成事業実施報告</i> <i>各市町村自立支援協議会の実施状況について</i> <i>地域課題の報告及び意見交換 等</i> |
| 平成 28 年 7 月 14 日 | 大和市生涯学習センター | |
| 平成 28 年 7 月 21 日 | 平塚保健福祉事務所 | |
| 平成 28 年 7 月 25 日 | アイクロス湘南 | |
| 平成 28 年 7 月 26 日 | 逗子市市民交流センター | |
| 平成 28 年 10 月 20 日 | 平塚保健福祉事務所 | |
| 平成 29 年 1 月 31 日 | 海老名文化会館 | |
| 平成 29 年 2 月 14 日 | 逗子市市民交流センター | |
| 平成 29 年 2 月 16 日 | 平塚保健福祉事務所 | |
| 平成 29 年 2 月 27 日 | 小田原合同庁舎 | |
| 平成 29 年 3 月 22 日 | アイクロス湘南 | |

当事者団体との連携

当事者団体との連携は、NPO法人脳外傷友の会「ナナ」の協力を得て神奈川リハビリテーション病院内の協働事業室にて入院・外来利用者などを対象にピアサポート支援や本人の活動支援を行い、必要に応じて地域支援センターと連携した研修や個別支援を行っている。

| 協働事業室利用者数 | 本人活動支援 |
|-----------|--------|
| 1456 | 256 |